

鎮痛剤

日本薬局方 ミグレニン

ミグレニン「ホエイ」

Migrenin

劇薬

貯法：遮光、気密容器、室温保存
使用期限：5年
(容器に表示の使用期限内
に使用すること)

承認番号	16100AMZ01042
薬価収載	1950年9月
販売開始	1953年12月
再評価結果	1976年7月

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

本剤またはピラゾロン系化合物(スルピリン等)に対し、
過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

組成

販売名	ミグレニン「ホエイ」
成分・含量 (1g中)	日局 ミグレニン1g 〔アンチピリン90、カフェイン9およびクエン酸1 の重量の割合からなる。〕

製剤の性状

本剤は白色の粉末又は結晶性の粉末で、においはなく、味
は苦い。

【効能・効果】

頭痛

【用法・用量】

ミグレニンとして、通常成人1日1.0gを2~3回に分割経口
投与する。長期連用は避けるべきである。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)本人または両親・兄弟が他の薬物に対するアレルギー、
蕁麻疹、気管支喘息、アレルギー性鼻炎または食物アレ
ルギー等の患者〔過敏症をおこすことがある。〕
- (2)肝または腎障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (3)血液障害(貧血、白血球減少等)のある患者〔症状が悪化
するおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

- (1)ショック等を予測するため、十分な問診を行うこと。
- (2)原則として長期投与を避けること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
インターフェロン製剤 (インターフェロ ン- α 、インター フェロン- β 等)	インターフェロン製 剤との併用で本剤中 に含まれるアンチピ リンの血中濃度が高 まることが報告され ているので注意す ること。	左記の薬剤により、 肝臓でのアンチピ リンの代謝が抑制され ると考えられている。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調
査を実施していない。

(1)重大な副作用(頻度不明)

- 1)ショック：ショックがあらわれることがあるので、観
察を十分に行い、胸内苦悶、血圧低下、顔面蒼白、脈
拍異常、呼吸困難等の症状があらわれた場合には適
切な処置を行うこと。
- 2)無顆粒細胞症：無顆粒細胞症があらわれることがあ
るので、観察を十分に行い、異常が認められた場合
には投与を中止すること。

(2)その他の副作用

種類	頻度	頻度不明
過敏症 ^{注1)}		発疹、紅斑、小疱性角膜炎、そう痒等
血液 ^{注2)}		血小板減少、貧血等
肝臓 ^{注1)}		AST(GOT)・ALT(GPT)の上昇等
腎臓 ^{注1)}		腎障害
消化器		食欲不振、悪心・嘔吐等
眼		眼障害
その他		頭痛、めまい、眼気、倦怠感

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
注2)観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与
を中止し、適切な処置を行うこと。

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する
など注意すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- (1)妊婦または妊娠している可能性のある婦人には投与し
ないことが望ましい。〔類似化合物(スルピリン等)に
よる動物実験で催奇形作用が報告されている。〕
- (2)妊娠末期のラットに投与した実験で、弱い胎児の動脈
管収縮が報告されている。

7. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児または小児に対する
安全性は確立していない。

8. その他の注意

非ステロイド性消炎鎮痛剤を長期間投与されている女性
において、一時的な不妊が認められたとの報告がある。

【薬効薬理】

本剤はアンチピリンとカフェインの相乗作用で鎮痛効果をたか
めたもので、特に片頭痛に効果的である。アンチピリンは視床
に作用し、痛覚伝達路の求心性シナプスの感受性を低下させる
ことにより疼痛閾値を上昇させ、鎮痛作用を現す。またカフェ
インは、中枢性の鎮痛作用のほか、脳血管抵抗を増大し、脳血
流量を減少させることにより、頭痛をおさえる作用がある。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：〔日局〕ミグレニン(Migrenin)

性状：本品は白色の粉末又は結晶性の粉末で、においはなく、
味は苦い。
本品は水に極めて溶けやすく、エタノール(95)又はク
ロロホルムに溶けやすく、ジエチルエーテルに溶けに
くい。
本品1.0gを水10mLに溶かした液のpHは3.0~4.0であ
る。
本品は湿気及び光によって変化する。

融点：約104~110℃

【包 装】

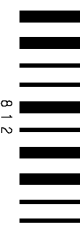
25g 500g

****【文献請求先】**

ファイザー株式会社 製品情報センター
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
学術情報ダイヤル 0120-664-467
FAX 03-3379-3053



812



812



製造販売元
マイラン製薬株式会社
大阪市中央区本町2丁目6番8号

**販売
ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木3-22-7

